

## 議案第 5 5 号

### 三次市指定重要文化財の指定解除について

三次市文化財保護条例(平成 1 6 年条例第 1 3 2 号) 第 4 条の規定により, 次の三次市指定重要文化財を指定解除することについて, 議決を求める。

令和 8 年 3 月 2 5 日提出

三次市教育委員会教育長 迫 田 隆 範

- 1 件数 4 件
- 2 内容

種別	名称	指定年月日	所在地
記念物	アソヒカゲスミレ	平成元年 5 月 1 5 日	三良坂町内全域
記念物	エヒメアヤメ	平成元年 5 月 1 5 日	三良坂町内全域
記念物	カラクサシダ	平成元年 5 月 1 5 日	三良坂町内全域
記念物	ナンゴクウラシマソウ	平成元年 5 月 1 5 日	三良坂町内全域

令和8年3月16日

三次市文化財保護委員会  
委員長 加藤 光臣 様

三次市教育委員会  
教育長 迫田 隆範



三次市指定文化財の指定解除について（諮問）

このことについて、文化財保護法（平成19年3月30日法律第7号）第190条第2項並びに三次市文化財保護委員会規則（平成16年9月9日教育委員会規則第36号）第2条第1項の規定によって、貴会の意見を求めます。

【諮問する文化財】

三次市指定天然記念物 アソヒカゲスミレ  
エヒメアヤメ  
カラクサシダ  
ナンゴクウラシマソウ

件数 4件



三次市指定文化財 指定解除調書

種 別	天然記念物
名 称	ナンゴクウラシマソウ
所 在 地	三良坂町全域
指定年月日	平成元年 5 月 15 日
内 容	<p>○ウラシマソウの由来は、花序から付属体が細長いひも状に伸び上がり、途中から垂れ下がり、これを浦島太郎の釣り糸に見立てたものである。ナンゴクウラシマソウは、ウラシマソウに似るが全体に小さく、高さ 30～40cm。苞の中にある付属体の下は膨れてしわがある。広島県植物誌によると「三良坂町などの内陸部の個体群は、花序の付属物の基部のしわが弱く、ウラシマソウに近い」とある。</p> <p>○ナンゴクウラシマソウの記述がある文献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「灰塚ダム湖とその周辺の自然」編集委員会(1996). 灰塚ダム湖とその周辺の自然：仁賀、小塩野、湯谷</li> <li>○広島県三良坂町(1998). 灰塚ダム貴重植物等移植保全活用報告書：             <ul style="list-style-type: none"> <li>小塩野地区：ダム堰堤予定地周辺及び林道沿い斜面</li> <li>湯谷地区：灰塚小学校跡の対岸の崖一崖の中腹で調査も困難な場所一</li> </ul> </li> <li>○土井美夫(1983). 広島県植物目録：宮島</li> <li>○広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会(編)(1997). 広島県植物誌. 中国新聞社：三良坂町、神之瀬峡、広島市、呉市、廿日市市、大竹市、宮島、上蒲刈島、佐伯町、世羅町、福山市</li> </ul>
所 見	<p>本種は、広島県植物誌によると、三良坂町、神之瀬峡、広島市、呉市、廿日市市、大竹市、宮島、上蒲刈島、佐伯町、世羅町、福山市で記録されているように、広島県では南部に多い。北部では、神之瀬峡にも記録があり三良坂町が北限でもない。</p> <p>令和 2 年 5 月 9 日、令和 3 年 4 月 30 日に桑田健吾元三次市文化財保護委員、西岡秀樹文化財保護委員、教育委員会友廣美和主任が現地調査したが確認できなかった。広島県野生生物保護推進員(ミズミラ担当)でもある三良坂町在住の桑田健吾氏も最近確認していない。</p> <p>市天然記念物を解除してよいと物件と考えられる。</p>

三次市指定文化財 指定解除調書

種 別	天然記念物
名 称	アソヒカゲスマレ
所 在 地	三良坂町全域
指定年月日	平成元年 5 月 15 日
内 容	<p>○アソヒカゲスマレは、1961年熊本県阿蘇郡で発見され、井波一雄(1981)によって広島県から報告された。広島県では東部に稀に分布する。ヒカゲスマレの葉の基部が耳状に張り出してほこ形になったもので、ヒカゲスマレの変種である。</p> <p>○アソヒカゲスマレの記述がある文献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦地域教材「灰塚」編集委員会(1991). 灰塚—ふるさとのあゆみ—：大谷</li> <li>◦「灰塚ダム湖とその周辺の自然」編集委員会(1996). 灰塚ダム湖とその周辺の自然：大谷</li> <li>◦土井美夫(1983). 広島県植物目録：帝釈</li> <li>◦広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会(編)(1997). 広島県植物誌. 中国新聞社：三良坂町大谷、豊松村</li> <li>◦広島県東城町植物誌編纂委員会(編)(2004). 広島県東城町植物誌. 比婆科学教育振興会：帝釈峡</li> </ul>
所 見	<p>令和2年5月9日、令和3年4月30日に桑田健吾元三次市文化財保護委員、西岡秀樹文化財保護委員、教育委員会友廣美和主任が現地調査したが確認できなかった。広島県野生生物保護推進員(ミズミラ担当)でもある三良坂町在住の桑田健吾氏も最近確認していない。</p> <p>市天然記念物を解除してよい物件と考えられる。</p>

三次市指定文化財 指定解除調書

種 別	天然記念物
名 称	カラクサシダ
所 在 地	三良坂町全域
指定年月日	平成元年 5 月 15 日
内 容	<p>○カラクサシダは、岩上や樹幹に着生する夏緑性シダ植物で、コケなどに混じって着生していることが多い。葉は 5 cm ぐらいの小型で両面に毛がある。根茎は長く這う。北海道から九州までに分布する。広島県準絶滅危惧(NTVU)</p> <p>○カラクサシダの記述がある文献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦地域教材「灰塚」編集委員会(1991).灰塚—ふるさとのあゆみ—：灰塚の横谷</li> <li>◦「灰塚ダム湖とその周辺の自然」編集委員会(1996). 灰塚ダム湖とその周辺の自然：灰塚の横谷、仁賀の細谷、総領町木屋、(1976)豊松村天田川、(1976)吉和村冠山、(1979)芸北町臥竜山、(1981)芸北町大谷、(1982)加計町温井</li> <li>◦土井美夫(1983). 広島県植物目録：吉和冠山、臥竜山、豊松、道後山</li> <li>◦広島県三良坂町(1998)灰塚ダム貴重植物統移植保全活用報告書：p571,p577 横谷地区：県道稲草・三良坂線より北側に 500m 程離れた雑木林裾附近及び谷沿い斜面</li> <li>◦広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会(編)(1997). 広島県植物誌. 中国新聞社：総領町、高宮町、廿日市市、豊松村</li> <li>◦松村雅文(2010). 広島県のシダ植物分布：豊松村、福山市、帝釈峡、総領町、高野町、君田村、三良坂町、作木村、高宮町、安芸区、芸北町、広島市、加計町、湯来町、廿日市市、戸河内町、吉和村</li> <li>◦庄原市立比和自然科学博物館(2018).広島県庄原市比和町吾妻山植物誌:吾妻山</li> <li>◦庄原市立比和自然科学博物館(2020).広島県庄原市比婆山植物誌：県民の森</li> </ul>
所 見	<p>令和 2 年 5 月 9 日、令和 3 年 4 月 30 日に桑田健吾元三次市文化財保護委員、西岡秀樹文化財保護委員、教育委員会友廣美和主任が現地調査したが確認できなかった。広島県野生生物保護推進員(ミズミラ担当)でもある三良坂町在住の桑田健吾氏も最近確認していない。</p> <p>市天然記念物を解除してよい物件と考えられる。</p>

三次市指定文化財 指定解除調書

種 別	天然記念物
名 称	エヒメアヤメ
所 在 地	三良坂町全域
指定年月日	平成元年 5 月 15 日
内 容	<p>○エヒメアヤメは中国地方、四国の瀬戸内海沿岸域、九州の山地草原、朝鮮・中国に分布する多年草で、朝鮮半島と日本が陸続きであった頃に分布したものであると考えられている。草丈は4月から5月の開花期で10～15cm程度と小さいながら、直径4cmほどの美しい青紫色の花を咲かせる。 広島県絶滅危惧Ⅱ類(VU)、環境省絶滅危惧Ⅱ類(VU)</p> <p>○エヒメアヤメの記述のある文献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦地域教材「灰塚」編集委員会(1991). 灰塚—ふるさとのあゆみ—: p36 灰塚の野竹、杉谷、中山</li> <li>◦「灰塚ダム湖とその周辺の自然」編集委員会(1996). 灰塚ダム湖とその周辺の自然: P539 沖江。 この中の記述に「地域教材「灰塚」P36によれば野竹、杉谷、中山にもあったそうであるが、山の草刈をしなくなってから少なくなったとのことである。沖江の生育地は水没地域外であるが個体数は少ない。」とある。</li> <li>◦土井美夫(1983). 広島県植物目録: 久芳、上下、津々郷、神辺、三原沼田東、比和</li> <li>◦広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会(編)(1997). 広島県植物誌. 中国新聞社: 三良坂町、河内町、大和町、福山市、甲山町</li> <li>◦中村慎吾(2019)虫と草木と人々第3集. シンセイアート出版部 p197-208 1950年の状況. 堀川(1950)県内10カ所(布野・有原町含)、中村(1950)比和 1974年の状況. 井手元(1974)県内23カ所(志和地、七塚原含) 1983年の状況. 土井(1983)広島県植物目録. 県内6カ所(上下、比和含) 1997年の状況. 広島県植物誌(上述)。天然記念物三和町中山,三原市沼田(国) 2019年の状況. 県内6カ所(口和、比和含)</li> </ul>
所 見	<p>令和2年5月9日、令和3年4月30日に桑田健吾元三次市文化財保護委員、西岡秀樹文化財保護委員、教育委員会友廣美和主任が現地調査したが確認できなかった。広島県野生生物保護推進員(ミズミラ担当)でもある三良坂町在住の桑田健吾氏も最近確認していない。草刈などされなくなると消滅していくものと思われる。</p> <p>市天然記念物を解除してよい物件と考えられる。</p>